

## 指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名: 農林水産部

### 1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県地方卸売市場(松阪市小津町800番地)
指定管理者の名称等	みえ中央市場マネジメント株式会社 代表取締役 山下純一郎 (松阪市小津町800番地)
指定の期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	1 市場事業の実施に関する業務 2 市場内での業務の承認等に関する業務 3 施設の利用の許可等に関する業務 4 利用料金の収受等に関する業務 5 施設の維持管理等に関する業務 6 その他県が市場の管理運営上必要と認める業務

### 2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H26	B		○業務の承認等に関する業務、施設の利用許可等に関する業務については、取扱基準・事務処理要領等に基づき、事業者に対して適切に事務手続きが行われている。  ○施設の維持管理等に関する業務については、自主的な日々の場内巡回や専門業者による保守管理により、異常箇所の早期発見に努め、市場利用者の利便性向上のため、積極的な修繕を行うなど、全期間を通じて市場の円滑な運営が図られている。
H27	B		
H28	B		
H29	B		
H30	B		

### 3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H26	B		施設の利用状況の向上のため、入居を検討している事業者等に対して「市場施設利用料金の軽減」についての説明や、貸事務所等の情報を提供するサイトを活用して、関連商品売場棟の情報発信をするなど、事業者の誘致に努めたところ、施設利用面積比率の平均は、全期間を通じて目標である90%以上を達成している。  一般消費者を対象とした「にぎわい市場デー」の際に、関連商品売場棟の空き店舗の有効活用として、みえ食文化研究会と連携した「いちばの料理教室」を開催するなどし、市場外からの出店者や市場内事業者の臨時店舗としての活用が図られている。
H27	B		
H28	B		
H29	B		
H30	B		

### 4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	0	事業費	0
利用料金収入	949,310,858	管理費	1,095,957,189
その他の収入	198,455,972	その他の支出	0
合計 (a)	1,147,766,830	合計 (b)	1,095,957,189
収支差額 (a)-(b)	51,809,641		

参考

利用料金減免額	0
---------	---

## 5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績						
			成果目標項目	目標値	H26実績値	H27実績値	H28実績値	H29実績値	H30実績値
H26	C		施設利用面積比率の平均	90%以上	91.9%	91.7%	93.2%	94.3%	94.7%
H27	C		市場の交流人口	3万人以上	21,190人	21,114人	41,195人	37,936人	37,031人
H28	B	+	関連商品売場棟への入場者数 (提案型事業の目標)	12,000人以上	10,250人	7,760人	12,270人	14,300人	14,070人
H29	B	+	市場ブランド商品の開発 (提案型事業の目標)	5年間で5点開発	9点	19点	19点	20点	20点
H30	B	+	市場からのごみ排出量 (提案型事業の目標)	5年後に半分	89.6%	49.4%	36.3%	29.1%	30.3%
全期間におけるコメント									
<p>協定書に基づく成果目標について</p> <p>(1) 施設利用面積比率の平均(目標:90%以上) 施設利用料金の軽減(20年度対比 28%)の継続をすることにより、既存事業者の経営安定を図るとともに、入居を検討している事業者等に対し「市場施設利用料金の軽減」について説明することにより、遊休施設の利用促進及び外部からの新規入居を促進したことから、施設利用面積比率の平均は全期間を通じて目標である90%以上を達成している。</p> <p>(2) 親しまれる市場づくり(市場交流人口)(目標:年間延べ3万人以上) 「にぎわい市場デー」を開催するとともに、一般消費者を対象とした地元の食材を活用した郷土料理の実習を行う「いちばの料理教室」の開催やツイッターを活用した旬の食材等の紹介、地域の集客イベントにおけるPR活動等の取組などを行った結果、平成28年度以降3年連続で目標を達成している。</p> <p>(3) 提案型事業の目標 ア 関連商品売場棟への入場者数(目標:12,000人以上) 「にぎわい市場デー」において、みえ食文化研究会と連携した「いちばの料理教室」やその他集客イベントを開催することなどに取り組んだ結果、平成28年度以降3年連続で目標を達成している。</p> <p>イ 市場ブランド商品開発(目標:5年で5商品) 地元和菓子店との連携により、5年間で累計20点の商品を開発し、目標を達成している。特に、いちご大福やよもぎ餅は定番となっており、販売早々に売り切れている。</p> <p>ウ 市場からのごみ排出量(目標:5年後に半減) 排出者がごみの量に応じて処理費用を負担する「従量制」を平成27年度から導入した結果、平成27年度以降4年連続で目標を達成している。</p>									

## 6 総括評価

<p>徹底したコスト管理のもと場内事業者からの利用料金収入により管理・運営されており、県からの指定管理料を必要とせず、健全な経営が図られている。</p> <p>適切に事務手続きを行うとともに、緊急性が高いと判断された箇所を優先に修繕工事を行い、施設の維持管理等に努めるなど、全期間を通じて市場の円滑な運営が図られている。</p> <p>平成28年度の包括外部監査において、業務委託契約の方法や、備品の保管方法など一部の管理運営について改善を求められましたが、社内規程を整備するなどして適切な事務処理体制を構築している。</p> <p>業務計画を着実に遂行し、全ての成果目標を達成していることから、評価できる。</p>
--

「2 管理業務の実施状況」の自己評価	「A」 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。 「B」 業務計画を順調に実施している。 「C」 業務計画を十分には実施できていない。 「D」 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
「3 施設の利用状況」 「5 成果目標及びその実績」の自己評価	「A」 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。 「B」 当初の目標を達成している。 「C」 当初の目標を十分には達成できていない。 「D」 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
県の評価	「+」(プラス) 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。 「-」(マイナス) 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。 「 」(空白) 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。